

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



「緑のサヘル」の現地協力団体、
AJPEE(環境畜産保全青年協会)で代表を務めるサウドゴ氏。

ブルキナファソから感謝を込めて

現在、バム県コングシ地域の多くの住民が、「緑のサヘル」の活動の恩恵を受けています。例えば、私たちの子供たちは小学生の時から環境を守ることを学んでいます。そして実際に木を植え、様々な管理を行ないながら大きく育てることが出来ます。これらは「緑のサヘル」の支援によって習得出来たものです。

また、各校の教師たちもよく訓練されていますが、これも「緑のサヘル」がバム県環境局と協力して行なった活動の成果です。そして、こうした取り組みを続けた結果、かつては地面が剥き出しだった地域の小学校の多くが、今ではこんもりとした木立が校舎を囲むまでになっています。

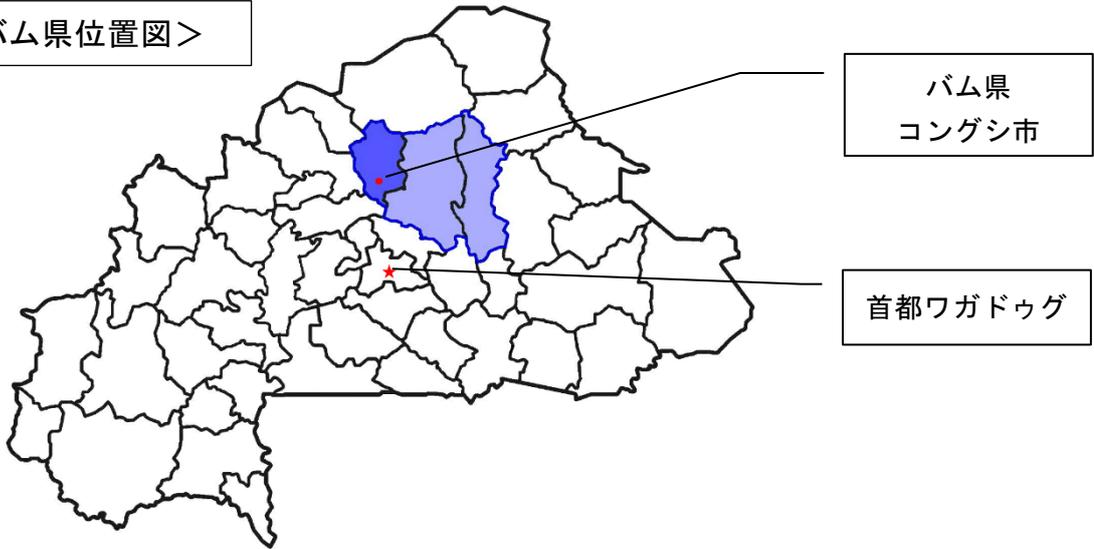
私たちは「緑のサヘル」が、日本に暮らす多くの方々によって支えられていることを知っています。皆さんが、遠く離れた私たちのことを慮り、手を差し伸べてくださっていることを知っています。私たちは感謝を持って、そのご厚意を受け取っています。

日本政府がブルキナファソのためにして下さる努力に対して、感謝するのは当然のことです。しかし私は、政府と政府より住民同士の方がより分かり合え、結び付きを強くすることが出来ると思うのです。ですから今私は、「緑のサヘル」を支えて下さっている全ての皆さんに、心からお礼を言いたいのです。

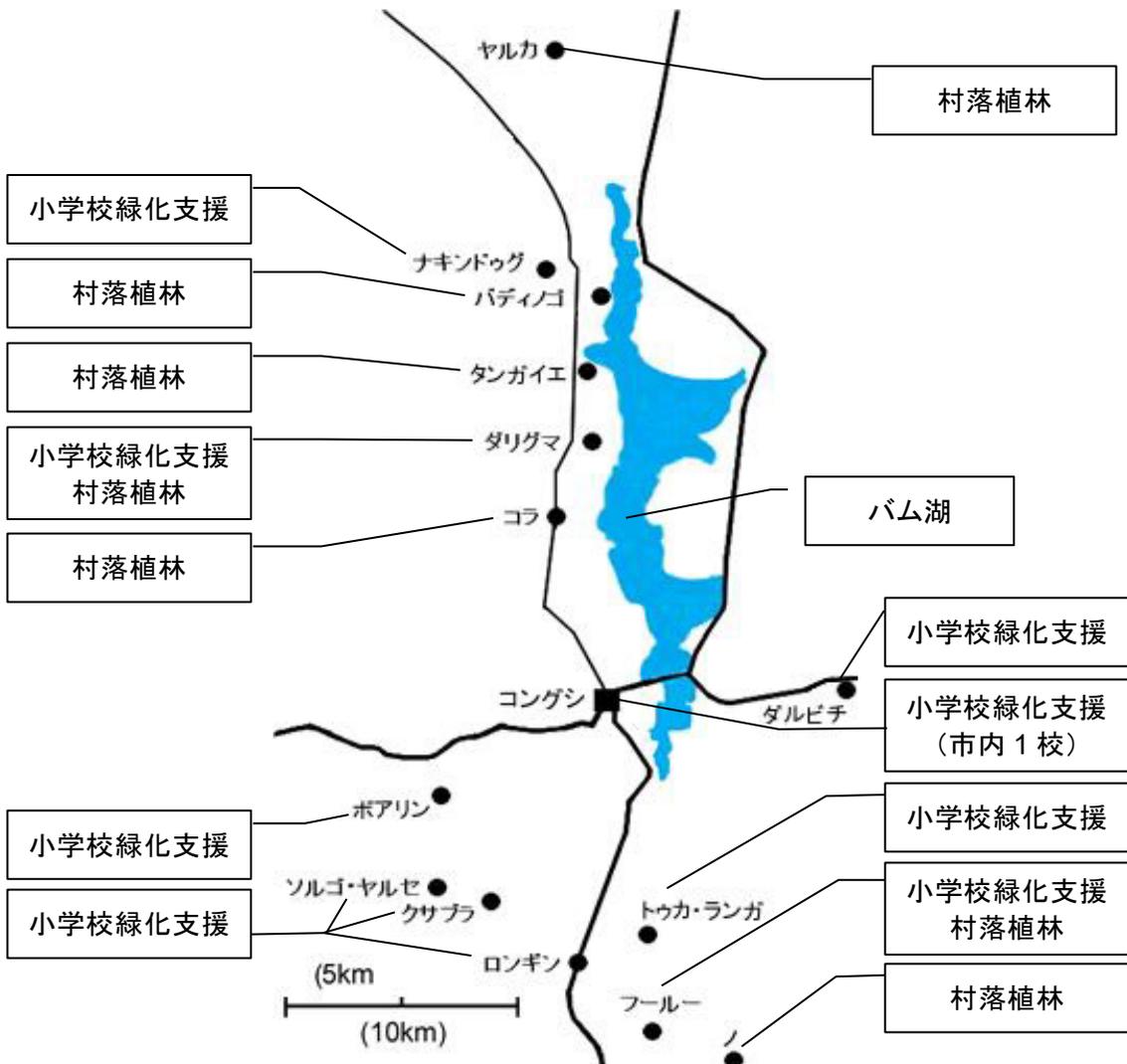
AJPEE 代表 サウドゴ・ロック・ナゼール

ブルキナファソの活動地域図

<バム県位置図>



<バム県コングシ地域活動実施村位置図>





ブルキナファソにおける新型コロナウイルスの感染者は延べ 1,514 名、死者は 56 名となっています（9 月 12 日現在）。ただし検査数自体が公表されていないので、実態は把握出来ていません。幸い現場となっているコングシ地域では、現在までのところ感染者は報告されていません。

雨季は終盤に入っています。今年は降雨量が多く、一時は地域の中心にあるバム湖の氾濫も懸念されていましたが、どうやら大規模な氾濫は避けられたようです。ソルガム（モロコシ）、ミレット（トウジンビエ）等、穀物は順調に育っており、村々は豊作の期待に胸を膨らませています。

小学校緑化支援（2019 年）

前号でもお伝えした通り、6 月末に 2019 年に植栽を行なった 10 小学校の「成績発表会」を開催しましたが、その模様がブルキナファソの全国紙「Sidwaya」に掲載されました。Sidwaya は、現地の主要言語であるモシ語で「真実の到来」を意味し、多くの人々が愛読しています。この活動が評価された証と考え、これからも頑張りたいと思います。



Environnement & développement

24

Protection durable de l'environnement

Les meilleures écoles du Bam primées

L'Association des jeunes pour la protection de l'environnement et de l'élevage(AJPEE) de Kongoussi a organisé une journée de récompense des meilleures écoles primaires du Bam, en matière d'éducation environnementale, le 27 juin 2020 à Kongoussi.



Le directeur provincial de l'Environnement du Bam, Aboudou Ouedraogo, remettant la récompense à l'école de Mésodougou.

Les cinq meilleures écoles du Bam qui se sont illustrées positivement en matière d'entretien des bosquets scolaires ont été primées. C'était au cours d'une cérémonie organisée par l'Association des jeunes pour la protection de l'environnement et de l'élevage (AJPEE) de Kongoussi, le samedi 27 juin 2020. L'activité de l'AJPEE s'inscrit dans le cadre de la mise en œuvre d'un projet d'éducation environnementale à l'école primaire, initié en 2008. Le projet est exécuté en partenariat avec l'ONG japonaise Action for greening Sahel (AGS), la direction provinciale de l'Éducation préscolaire, primaire et non formelle du Bam et la direction provinciale de l'Environnement, de l'Éco-

nomie verte et du Changement climatique du Bam. Depuis 2008, l'AJPEE retient des écoles chaque année pour la réalisation et l'entretien des bosquets scolaires. À la fin de chaque année scolaire, une cérémonie de récompense des meilleures écoles est organisée pour stimuler l'émulation au sein des établissements. « Notre objectif est ciblant les écoles primaires, c'est d'inculquer aux tout-petits, le goût de la plantation et de l'entretien des plantes à travers la réalisation de bosquets. Depuis le commencement, nous avons pu réaliser plus de 50 bosquets. Et c'est pour encourager les écoles que nous organisons la présente journée afin de primer les plus méritantes », a indiqué le

Asmado RABO



Toutes les écoles lauréates se sont engagées pour le succès du projet.

Jeudi 2 juillet 2020

Sidwaya N°9176

Le département se dote d'une stratégie de communication

Le ministère de l'Environnement, de l'Économie verte et du Changement climatique a validé sa stratégie d'information et de communication assortie d'un plan d'actions, le mercredi 1^{er} juillet 2020 à Ouagadougou.



Pour la Directrice de communication et de la presse ministérielle, Hortence Evelyne Yéliouo, ce document va booster la communication du ministère.

Le département en charge de l'environnement, de l'économie verte et du changement climatique multiplie les efforts pour freiner, entre autres, l'avancée du désert, la pollution, la dégradation des terres arables et la déforestation. Pour plus de résultats et d'efficacité dans ses initiatives protectrices de l'écosystème, les acteurs du ministère ont élaboré une stratégie de communication assortie d'un plan d'actions opérationnel pour une visibilité des activités. Le document soumis à l'appréciation des participants à l'atelier de validation tenu, le mercredi 1^{er} juillet 2020, à Ouagadougou. Selon le Secrétaire général (SG) du ministère en charge de l'environnement, Sibidou Sina, au regard des enjeux et défis environnementaux, la

Wanlé Gérard COULIBALY



Les participants ont fait des amendements pour parfaire le document.

「表彰されるバム県の優秀校」

写真は表彰状を受け取る生徒代表。

ブルキナファソから 2



小学校緑化支援（2020年）

7月1～3日、10校において今年度の植栽が行なわれました。樹種はニーム（インドセンダン）で、各校40本ずつ、計400本の苗木が植えられました。

植栽には、計586名（男子294名、女子292名）の生徒たちが参加しました。1人で1本の苗木を植える学校、1本の苗木を4～5人がかりで植える学校、やり方はそれぞれですが、苗木を大切に育てたいという思いは一緒です。各校とも保護者の皆さんや近隣の方々が助っ人に駆け付け、賑やかな1日となりました。



列に沿って苗木を植える生徒たち。

学校名	男	女	計
ナキンドゥグ	27	20	47
ダリグマ	30	17	48
フルー	24	28	52
クサブラ	22	31	53
リウドゥグ	29	40	69
トゥカ・ランガB	17	50	67
ダルビチ No.2	42	15	57
ボアリン	47	32	79
ソルゴ・ヤルセ	20	36	56
計	294	292	586

チャドから



各地で洪水が発生し、大きな被害が出ています。

今雨季は降雨量が多く、8月にはチャド中央部、東部、南部、チャド湖周辺地域、首都ンジャメナ等、ほぼ全土が洪水の被害に見舞われました。



首都ンジャメナで起きた洪水。河川の氾濫によって居住区全体に浸水。（1998年）

被害を受けたのは、確認されているだけで約3万8,000世帯、計19万人で、現在調査中の地域を含めると最終的には45万人にのぼるとの予測もなされています。

チャド政府は既に国連各機関と連携し、被災者の収容、食糧の配布、生活用品の支給等に着手していますが、穀物や換金作物の栽培地が甚大な被害を受けていることから、今後の食糧の不足や高騰が懸念されています。

また、汚水による疫病の発生も予想されており、予断を許さない状況が続いています。

国内活動



今期は、全国的に多くのイベントや集会が中止になりましたが、当団体においても例年実施している講演や修学旅行生の受け入れに、延期や中止が相次ぎました。日常の業務は、出勤日数を制限した結果、自宅と事務所の双方で行なうことになりました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

6月	18日(木)	明治学院大学 法学部 講義 「世界の環境を考える」 (3・4年生 80名) *音声付パワーポイントによる遠隔授業
7月	8日(水)	「2020年版 オリジナルTシャツ」 販売開始 「ニュースレター No.82」 発送開始
	15日(水)	「2021年 オリジナルカレンダー」 作製開始
	28日(火)	富山県立桜井高校 講演 (3月に延期)
8月	5日(水)	富山県立魚津高校 講演 (3月に延期)

2020年版 オリジナルTシャツ 販売中!

今年も「緑のサヘル・オリジナルTシャツ」を作製しました。



昨年ご好評いただいたオリジナルTシャツ、今年も新たな4色で発売中です。絵柄は昨年同様、アフリカでは一般的なホロホロ鳥のつがいです。

【デザイン：長野亮之介／プリント：(株)美廣社】

●色：ホワイト、蛍光イエロー、オレンジ、ターコイズブルー

●素材：ドライシルキータッチ

●サイズ：S・M・L・XL

●価格：1着 2,500円(送料込)

SIZE	S	M	L	XL
着丈	65	68	71	74
身幅	48	51	54	57
肩幅	43	45	47	49
袖丈	20	21	22	23

【お申込み方法】

ニュースレターに同封されている振込用紙に、ご氏名と住所、Tシャツの着数、色、サイズをご記入の上、郵便局にて代金をお支払い下さい。代金到着後、事務局よりTシャツを発送いたします。

売り上げは全て活動資金になりますので、どうぞ奮ってご注文下さい!



2021年カレンダー販売開始!!

ご好評いただいている「緑のサヘル オリジナル・カレンダー」、いよいよ2021年版の販売開始です!! 世界各国で人々の暮らしを撮り続ける写真家・小松義夫氏と、旅行人・編集長の蔵前仁一氏のコラボで、今年も素敵なカレンダーになりました。



ページを捲るたびに広がる自然や人々の暮らしが、ひと時の間、私たちを西アフリカの地へと誘います。

このカレンダー1冊で苗木10本を植えることができます。ぜひカレンダーのご購入で国際協力を! 同封のカレンダーチラシまたはメールにてお申込み下さい。

(緑のサヘル東京事務局)
agsj_tokyo@sahelgreen.org

サイズ: A4 変形 (広げた時 A3 変形) 印刷: オールカラー28ページ
価格: 1部 1,200円 (税込み)、送料 200円 (全国一律・何部でも)

皆様からのメッセージ

毎年、オリジナルカレンダーをご購入いただいた皆様から、多くのメッセージが届いています。以下にその一部をご紹介します。

- 毎年オリジナルカレンダーを楽しみにしています。プレゼントする人みんなに喜ばれています。(大阪府)
- この度、結婚して姓が変わりました。新居にも飾っております。引き続き、よろしくお願いします!(岐阜県)
- カレンダーが毎年とても楽しみです。少しでも現地の状況がよくなる事を願っています。(神奈川県)
- 懐かしさを感じると共に、自分が海外と繋がっているという気持ちになります。(鹿児島県)
- 今年も素敵な写真のカレンダーと共に、一年を過ごせることを嬉しく思います。(和歌山県)
- これからもアフリカの良い所、美しい所を目一杯ご紹介下さい。期待しております。(兵庫県)
- いつも楽しみにしています。人々の笑顔と緑あふれる大地、豊かなアフリカを願っています。(山梨県)
- 一年を終えると、このカレンダーを我が家の活動記録として、保存しています。(愛知県)

* プライバシーの保護のため、ご在住の県名のみの掲載とさせていただきます。

ありがとうございました

*敬称は略させて頂きました。

【新規会員のみなさま】

高澤美抄子

【継続会員のみなさま】

須藤きい／玉岡昇治／町千恵子／川邊賢治／菊地博子
福川佐代／北川華子／井上茂／國岡裕子／巨友子／向井成彦

他 匿名をご希望の方 1名

【ご寄付を頂きました】

小笠原弘子／矢野友一郎／黒河内康／瀬戸義子／武知ハルミ
山本淑子／木野友義／山本明子／勝間朋子／竹越久高／鈴木潤
加納愛子／松田曜子／太田弘子／竹橋なお美／葛原睦子／福川佐代
室井光子／木嶋清江／榎本みつ枝／浅輪重信／増岡一樹／井上るみ子
豊島まり子／井山郁子／巨友子／高木瑞穂／太田宜子／佐藤郁子
村上和代／小池昌子／牧野恵実／碓井道子／畑野めぐみ／佐藤京子
田中ちえ子／高橋量平／白鳥雅子／森野孝子／梅田暢子
アルファジャズ 殿岡ひとみ／ショファイユの幼きイエズス修道会

他 匿名をご希望の方 5名

【ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました】

佐々木順平／村上和代／木嶋清江

他 匿名をご希望の方 2名

上記は 2020年6月1日から2020年8月31日までにご支援頂いた方、
また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、
9月1日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂き
ました。

【協力団体・助成団体】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／トヨタ自動車(株)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(株)ブギ／国際ソロプチミスト大阪-中央
(特活)環境アリーナ研究機構／緑の募金(管理団体:(公社)国土緑化推進機構)
アフリカ料理トライブス／環境メディアフォーラム有限責任事業組合
ソフトバンクつながる募金／LIFULL ソーシャルファンディング
(特活)国際協力 NGO センター

「緑のサヘル」からお知らせ

ご支援をお願いします！

1. 会員を随時募集しています。



会員になって「緑のサヘル」を恒常的に支えて下さいませんか？ 年会費は、団体賛助会員 50,000 円、個人賛助会員 10,000 円、学生会員 5,000 円です。会員になって下さった方には会員番号を通知し、当団体のニュースレターと年次報告をお送りします。

2. ご寄付を募っています。

「緑のサヘル」は、多くの方々の支えによって活動を続けられています。もちろん、いくらからでもOKです。どうぞ、貯まった小銭や臨時収入のお裾分け等々、「緑のサヘル」にお託し下さい！ 生徒会や有志による募金も、大事に大事に使わせていただきます。



3. 書き損じハガキや未使用切手を集めています。



国内での活動には、ハガキや切手も必要です。未使用の切手は、そのまま使わせていただきます。書き損じハガキは、1枚5円の手数料を支払うことによって同額のハガキか切手、レターパック等に換えることができます。その結果、現地の活動費を増やすことができます。

4. 古本やCDを送って下さい。

読み終えた書籍、不要になったCD・DVD・ゲーム等を段ボールに詰め、所定の業者（「古本チャリティ募金」）に送っていただくと、その買取金額が「緑のサヘル」へのご寄付になります。平時はもちろん、書斎や図書室の本の入れ替え時、またお引越に際してもご検討下さい。（詳細は、事務局までお問合せ下さい）



5. カレンダー、Tシャツをご購入下さい。

「緑のサヘル」では、オリジナルのカレンダーやTシャツを作製しています。どちらの売上も活動に役立てられますので、どうぞ奮ってご購入下さい。詳細は本ニュースレターの「国内活動」と「事務局から」をご覧ください。

【 もくじ 】

< 編集後記 >

- 1..表紙
- 2..ブルキナファソ活動地図
- 3..ブルキナファソから 1
- 4..ブルキナファソから 2
チャドから
- 5..国内活動
- 6..事務局より
- 7..ありがとう
- 8..お知らせ

現地の皆さんの勤勉さには、本当に頭が下がります。長引くコロナ禍に少々疲れ気味でしたが、触発されてすっかり元気を回復しました。現地と日本、互いに励まし合いながら二人三脚で歩いて行こうと思います。（事務局）

La Forêt, C'est la Vie!

Vol.83

編集 緑のサヘル 東京事務局 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 N A S ビル 3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041